

今回のオススメメニュー

No Image

『源平の風 白狐魔記』

著者：齊藤洋

出版社：偕成社

所蔵館：中央館・石川館・勝連館

請求記号：913サ



ちょっとあじみ

日本に未だ武士が在り、弓、槍、刀を持って戦に明け暮れていた頃。一匹のきつねがいた。人間に興味を持ち始めた彼は、人里に潜む事で、人間の言葉を少しずつ理解してゆく。そのうちに、ある話を耳にする。「白駒山の仙人の下で修業を積んだきつねは神通力を得て、その力で人を化かす事ができる。」半信半疑ながらも好奇心のままに白駒山へ向かい、そこで仙人と出会い修行を経て、自らもまた仙人と呼ばれるにふさわしい力を身に付ける…。

本作はシリーズ第一巻。人間に化ける事が出来るようになったきつね、白狐魔丸が目撃する歴史上の人物達の生き様、死に様を描く物語。NHK-FMにて2014年から2016年にかけてラジオドラマ化もされている。児童文学作家として名高い齊藤洋氏の簡潔にして巧みな文体は時代劇という舞台設定においても一息に読み進めることが可能だが、本シリーズに一貫している「人の生き死にと、それに憂い考えを巡らせるきつね」の姿勢は、読み終えた後に人の世の儚さを読者の心に残す。是非とも手に取って欲しい良作である。

サイドメニュー

『白狐魔記』シリーズ既刊（著者、出版社、所蔵館、請求記号、全て上に同じ）

『蒙古の波』

『洛中の火』

『戦国の雲』

『天草の霧』

『元禄の雪』

No Image

No Image

No Image

No Image

No Image